

安浦中学校区 カリキュラムマップ

- 課題解決のために必要な知識・技能を身に付けている児童生徒
- 課題発見・解決学習を通して、自分たちは何ができるかを発信する児童生徒
- 主体的・協働的に取り組み、積極的に社会に貢献しようとする児童生徒

目指す児童生徒像

1 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	感謝・貢献
後期	各教科等に関する個別の知識や技能などを確実に身に付けている。	目的に応じて、多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、論理のすすめ方や表現の仕方などを工夫して、効果的に表現することができる。	課題解決のために、対象に対して自ら働きかけ、進んで挑戦することができる。	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に貢献することができる。
中期		目的に応じて、複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現することができる。	課題解決のための過程において、対象に対して積極的に働きかけ、進んで挑戦することができる。	郷土の伝統や文化を大切にし、地域社会の一員として貢献を意識して活動に参加することができる。
前期		目的をもって、複数の事柄や資料などについて自分で視点を持ち、比較分類、関連付けてまとめて表現することができる。	目的を明確にして、課題の解決に向けて、見通しをもって計画的に挑戦することができる。	地域のよさを理解し、感謝する心をもって地域と関わる活動に参加することができる。

2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	社会貢献・自己実現に向けて学ぶ	総合的な学習の時間では、地域参画の在り方についての学習を取り入れ、理科では環境保全の在り方を、国語科では市民と行政の2つの立場を踏まえて学習を進められるよう単元配列を工夫した。
中期	地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ	国語科や社会科では、「思考力・判断力・表現力」の育成を重点化し体験活動や調べ学習を取り入れながら、総合的な学習の時間との関連を図った。
前期		生活科・総合的な学習の時間では、中期・後期の学習を見据え、地域の「ひと・もの・こと」について課題意識を持てるような単元を配置した。

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

- 生活科・総合的な学習の時間は、9年間を通して、「生き方学習」と「ふるさと学習」を系統的に配列している。これは、本中学校区の学校教育目標「ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒の育成」を受けて設定したものである。「生き方学習」では、義務教育9年間の出口である進路選択において、各生徒が自分なりの自己実現を可能にするための資質・能力を身に付けられるような単元づくりを、「ふるさと学習」では、自らのルーツである安浦町について理解し、よりよい自己実現の土台を築くために、地域の資源「ひと・もの・こと」を生かした単元づくりを進める。その際、地域と連携した体験活動を大切にしながら、前期は情報収集、中期は情報収集・情報発信を中心とした「学ぶ」学習形態を、後期では、情報発信・地域貢献を中心とした単元構想を計画している。

4 「総合的な学習の時間」の育成すべき資質・能力

知識及び技能	地域の「ひと・もの・こと」を生かし、探求的な学習の過程において課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。
思考力, 判断力, 表現等	地域の「ひと・もの・こと」を生かし、地域・社会に関連した問題から、課題を見出し、情報収集し整理・分析して、自分たちは何ができるのかをまとめ・表現・情報発信することができるようにする。
学びに向かう力, 人間性等	地域の「ひと・もの・こと」を生かし、探求的な学習に、主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、積極的に社会参画しようとする意欲を育て、自己実現を図ろうとする態度を育てる。